



柿
安

2022年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2021年10月18日
株式会社 柿安本店

1. 2022年2月期 第2四半期業績及び通期業績予想



〔第2四半期連結累計期間 実績〕

〔通期予想〕

(単位:百万円)

	2022年 2月期 第2四半期実績	(対売上比)	前年 差異	前年比 増減	2021年 7月13日 開示予想 差異/増減	2022年 2月期 予想	(対売上比)	2021年 2月期 実績	(対売上比)	前年 差異/増減
売上高	18,028	-	+1,643	+10.0%	△171 △0.9%	38,500	-	37,289	-	+1,210 +3.2%
(売上原価)	8,722	48.4%	+227	+2.7%	-	19,200	49.9%	18,870	50.6%	+329 +1.7%
(販管費)	8,375	46.4%	+214	+2.6%	-	17,000	44.2%	17,104	45.9%	△104 △0.6%
営業利益	929	5.2%	+1,201	-	+129 +16.2%	2,300	6.0%	1,314	3.5%	+985 +74.9%
経常利益	1,151	6.4%	+1,343	-	+351 +43.9%	2,300	6.0%	1,523	4.1%	+776 +51.0%
親会社株主に 帰属する当期 (四半期)純利益	604	3.4%	+1,120	-	+174 +40.5%	1,300	3.4%	263	0.7%	+1,036 +393.4%

※ 当社は、2021年6月1日付で、完全子会社である株式会社KHフードサービスを新設分割したことに伴い、2022年2月期第2四半期より連結業績のみを開示しておりますが、参考として2021年2月期第2四半期及び通期における非連結での業績と比較しております。

◆第1・第2四半期連結会計期間実績比較



(単位:百万円)

	2022年2月期 第1四半期 会計期間実績 (3月~5月)	前年 差異	前年比	2022年2月期 第2四半期連結 会計期間実績 (6月~8月)	前年 差異	前年比	2022年2月期 第2四半期連結 累計期間実績 (3月~8月)	前年 差異	前年比
精肉	3,669			3,764			7,434	+407	105.8%
惣菜	2,747			2,868			5,616	+952	120.4%
和菓子	1,908			1,354			3,263	+354	112.2%
レストラン	514			444			958	△38	96.1%
食品	233			522			755	△33	95.8%
売上高	9,073	+2,115	130.4%	8,954	△471	95.0%	18,028	+1,643	110.0%
精肉	309			342			651	△81	88.9%
惣菜	240			269			509	+550	-
和菓子	303			△45			258	+240	1,504.0%
レストラン	△93			△57			△150	+416	-
食品	20			94			115	+53	186.0%
(調整額)	△228			△226			△454	+21	-
営業利益	551	+1,145	-	378	+55	117.3%	929	+1,201	-
経常利益	598	+1,187	-	552	+155	139.1%	1,151	+1,343	-

◆ 2022年2月期 第2四半期 セグメント概要



〔第2四半期連結累計期間〕

(単位:百万円)

	売上高				セグメント利益または損失(△)			
	2022年2月期 第2四半期 連結累計期間	2021年2月期 第2四半期 累計期間	前年比 (%)	前年差異	2022年2月期 第2四半期 連結累計期間	2021年2月期 第2四半期 累計期間	前年比 (%)	前年差異
精肉事業	7,434	7,027	105.8	+407	651	733	88.9	△81
惣菜事業	5,616	4,663	120.4	+952	509	△40	-	+550
和菓子事業	3,263	2,908	112.2	+354	258	17	1,504.0	+240
レストラン事業	958	996	96.1	△38	△150	△567	-	+416
食品事業	755	788	95.8	△33	115	62	186.0	+53
(調整額)	-	-	-	-	△454	△476	-	+21
合計	18,028	16,384	110.0	+1,643	929	△271	-	+1,201

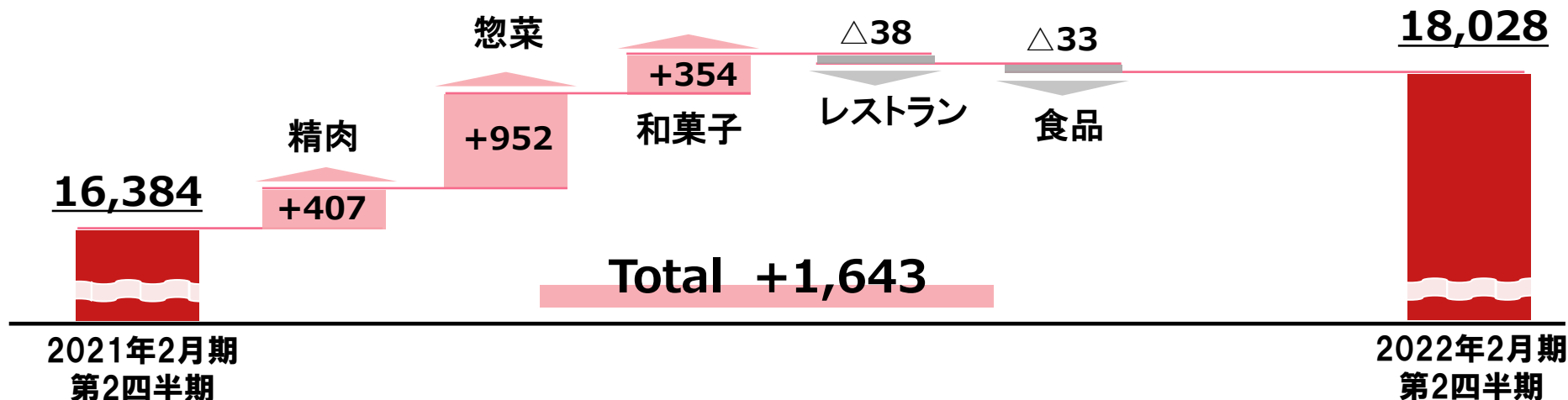
◆ 2022年2月期 第2四半期

セグメント別売上高・利益増減

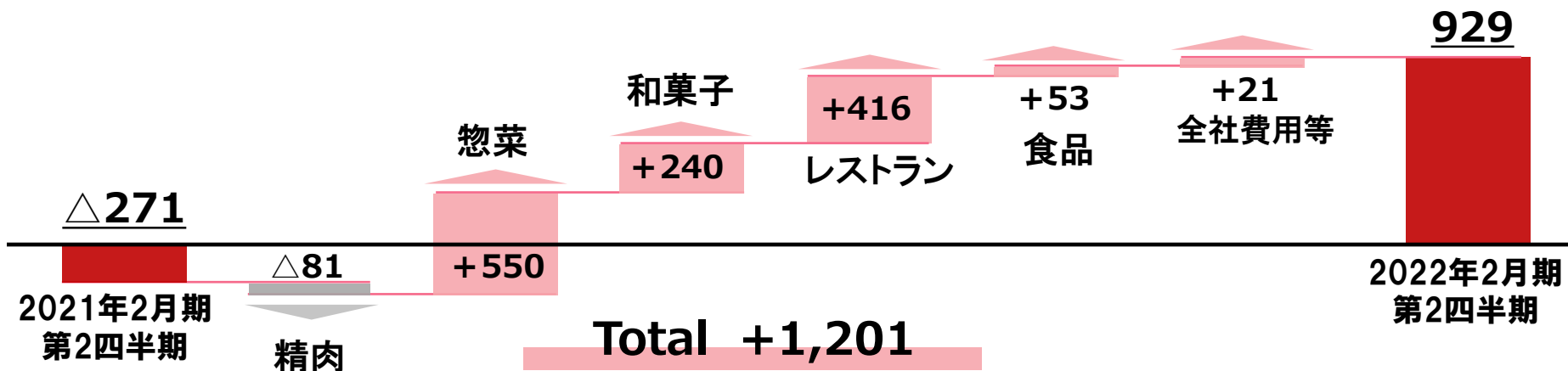


〔売上高〕

(単位：百万円)



〔利益〕



◆ 2022年2月期 出退店 上期実績及び通期計画



	2022/2 上期実績	
	出店	退店
精肉事業	-	-
惣菜事業	1	1
和菓子事業	-	6
レストラン事業	-	9
食品事業	-	1
合計	1	17

2022/2 通期計画		2022/2 期末 店舗数
出店	退店	
1	-	41
1	2	90
5	13	179
-	14	25
-	1	9
7	30	344

2. 今後の取り組みについて

事業構造改革と来期以降の成長への地盤固め

(1) 営業利益改善への取り組み

- ① レストラン、和菓子の不採算店の退店
→ 今期で概ね目途をつける予定
- ② 店舗管理の強化
原価（フードロスの削減）・人件費管理の強化
→ 今後も継続
- ③ 固定費の低減
間接部門・工場を中心に効率化によるコスト低減、
損益分岐点の引き下げ
→ 今後も継続

2. 今後の取り組みについて

(2) 家庭内食を意識した高付加価値な商品の開発強化と販路拡大

①「おいしいものをお値打ちに提供する」の経営理念のもと
「味へのこだわり」「おもてなしの心」の追求

②各事業の取り組み

- ・ 基幹事業の精肉、惣菜は継続的な出店
惣菜は外部厨房の活用により従来マーケット以外の出店が可能
→ 十分な厨房設備を持ってない立地への出店
外部厨房を拠点とした販路開拓
- ・ 和菓子は新業態開発を検討
- ・ 食品事業は従来の百貨店・量販店以外の販路拡大
→ 大手冷凍食品メーカー、大手コンビニエンスストアとの
コラボ商品拡大

③コスト構造の見直しの結果、来期以降更なる利益の向上へ

2. 今後の取り組みについて

(3) 創業150周年と「プライム市場」選択

- ① 当社は11月に創業150周年を迎える
- ② 来年4月からの東証新市場区分において「プライム市場」を選択
→ コーポレートガバナンス及び内部管理体制の更なる強化
- ③ 配当、株主優待等株主還元の見直し検討
→ 今後必要に応じて適宜開示予定

すべてのステークホルダーに貢献する経営

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。